

2017. 11. 13 スマートみやぎ健民会議

みやぎの スマートアクション

～日常的に健康づくりが実践できる社会環境の整備～



宮城県知事 村井 嘉浩

何を目指すのか

みやぎの健康づくりの基本方針

宮城の将来ビジョン

生涯現役で安心して暮らせる社会の構築



みやぎ21健康プラン

健康寿命の延伸

➡ QOLの向上, 医療費の抑制

健康格差の縮小(個人間、地域間)

➡ 県内 だれでも, いつでも, どこでも健康

1次予防の重視

➡ 県民の生活習慣の改善

ソーシャルキャピタルの再構築

➡ 県民の健康づくりを支える社会環境の整備

循環器系, 内分泌系,
栄養, 代謝疾患の割合

25.2%

がん

国民健康保険医療費
(平成27年5月分:宮城県)

県民の健康課題

肥満が多い

【男性】 H28:全国ワースト4位
(H24:ワースト7位)

【子供】 H28:全国ワースト2位
(小学6年男子)

歩かない人が多い

【男性】 H28:全国ワースト7位
(H24:ワースト1位)

メタボが多い

(該当者及び予備群の割合)

H26-27:全国ワースト3位
(H20-25:ワースト2位)

塩分過剰

【男性】 H28:全国ワースト 1位
【女性】 H28:全国ワースト13位

脳血管疾患が多い

(年齢調整死亡率が全国平均より高い)

H28:全国ワースト25位



写真提供:河北新報社・仙台放送
(みやぎカイゼンプロジェクト)

喫煙者が多い

H28:全国ワースト 9位

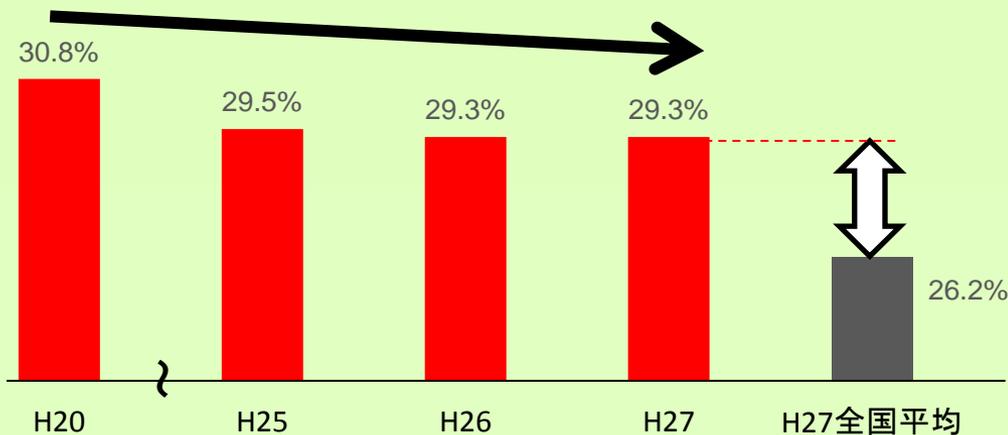
「平成24、28年国民健康・栄養調査結果」(厚労省)
「平成28年国民生活基礎調査」(厚労省)
「H24,28学校保健統計調査」(文科省)
「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」(厚労省)
「H28人口動態統計」(厚労省)

メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

H27年度の割合

ワースト1位	沖縄県	32.1%
ワースト2位	福島県	29.6%
ワースト3位	宮城県	29.3%

ワースト3位!



微減の傾向にありますが

全国平均に比べメタボが多い

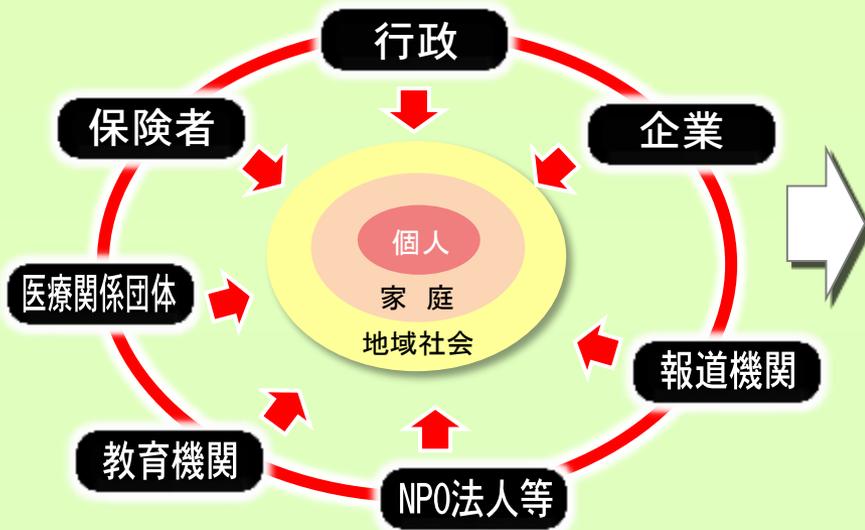
ワースト2位

ワースト3位

スマートみやぎ健民会議設立 (H28.2)



保険者・企業・医療関係団体等と連携し、輪でつないで、県民(個人)の健康づくりを後押し



スマートみやぎ健民会議

会長(知事)

顧問(東北大学 辻教授)

副会長

(県医師会長、県商工会議所連合会会長)

代表者会議

庁内連絡調整会議 (部局横断による連携強化)

会員団体

現在約260団体が
会員登録

市町村等行政, 医療保健団体, 医療保険者・企業, 教育機関, 地域団体, 報道機関等

全ライフステージへの切れ目のない支援体制の構築

健民会議の活動

- ◇ 会員同士の情報交換, 企業等先進的取組を表彰
- ◇ 報道機関との連携による情報発信
- ◇ 企業向けセミナー等による健康経営の普及
- ◇ 市町村との連携による健康づくりの推進

スマートみやぎ健民会議における取組

減塩！あと3g

歩こう！あと15分

めざせ！受動喫煙ゼロ

歩こう！あと15分

スマートみやぎプロジェクト

新規

県民運動の推進
(健康情報のタイムリーな発信・表彰等)
みやぎヘルスサテライトステーション設置

メタボ予防対策事業



© 宮城県・旭プロダクション

早期発見

若年者向け健診

特定健診・保健指導

がん検診・予防

生活習慣病の重症化予防

糖尿病重症化予防対策

新規

減塩！あと3g

塩eco推進事業

塩エコレシポ配布，知識の普及啓発

食生活改善普及事業

食生活改善推進員による講習会

みやぎの食育推進戦略事業

みやぎ食育応援団

めざせ！受動喫煙ゼロ

受動喫煙防止ガイドライン

受動喫煙防止宣言施設登録制度

ソーシャルキャピタルの再構築

スマートみやぎ健民会議

健康づくり優良団体表彰

健康経営の概念普及

応援企業登録制度

新規

子どもの健康づくり推進事業

優良会員制度
(がんばる中小企業応援資金と連動)

新規

新規

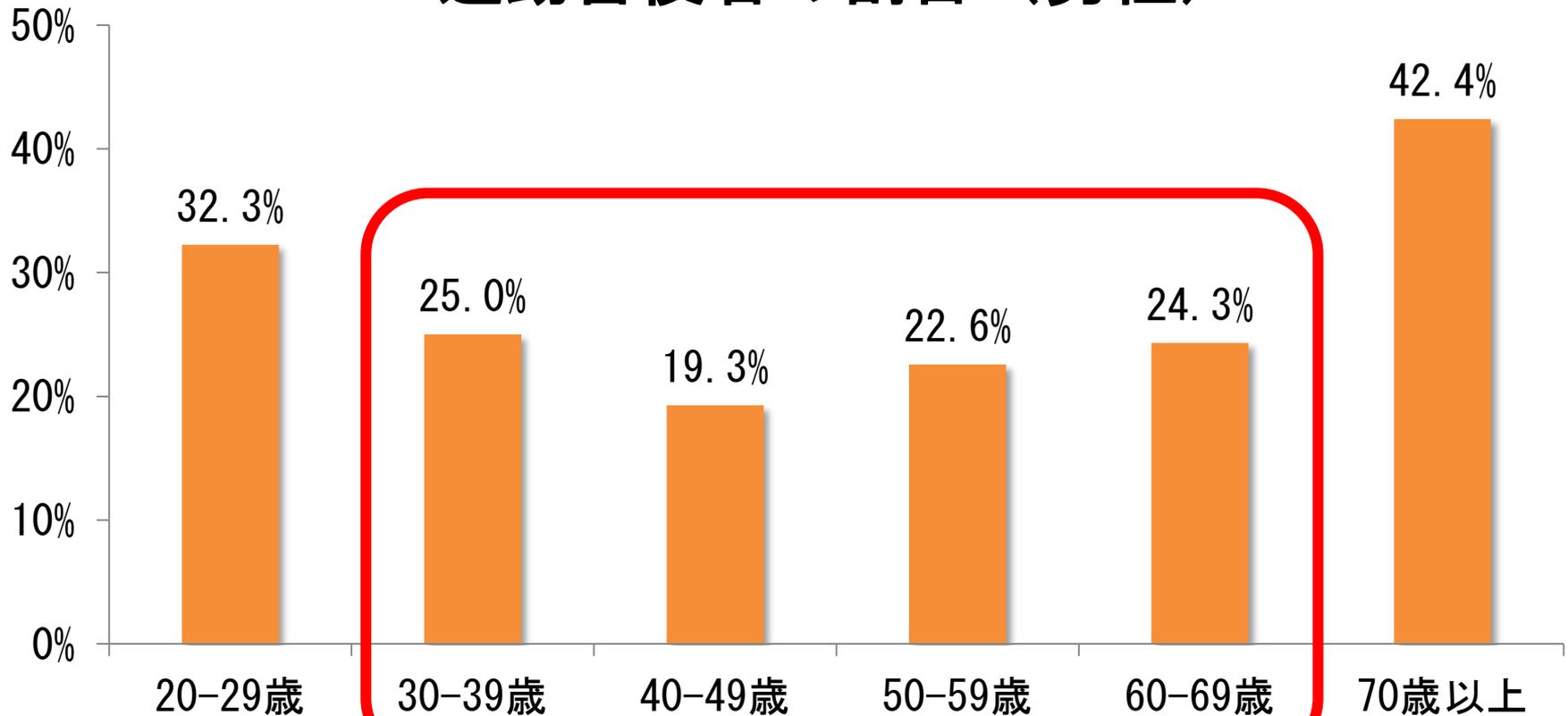
新規

みやぎのデータヘルス推進事業(施策評価・県民に見える化)

青年・壮年期の運動不足がメタボの原因



運動習慣者の割合（男性）



みやぎのスマートアクションの提案

～ 特に重点的に取り組むテーマ ～

まず一歩!



© 宮城県・旭プロダクション

減塩!あと3g

歩こう!あと15分

めざせ!受動喫煙ゼロ

あと、1日、15分 (1,500歩) 歩く

健康増進・生活習慣病予防

ライフスタイルの活発化

今後4年間の達成を目指して

健康寿命の延伸、医療費の抑制

健康増進
重症化予防

QOLの向上

メタボ該当者・予備群の減少

血圧の低下

肥満者の減少



あと、1日、15分(1500歩)歩く

全国ベスト
10位内に

経済への
波及効果

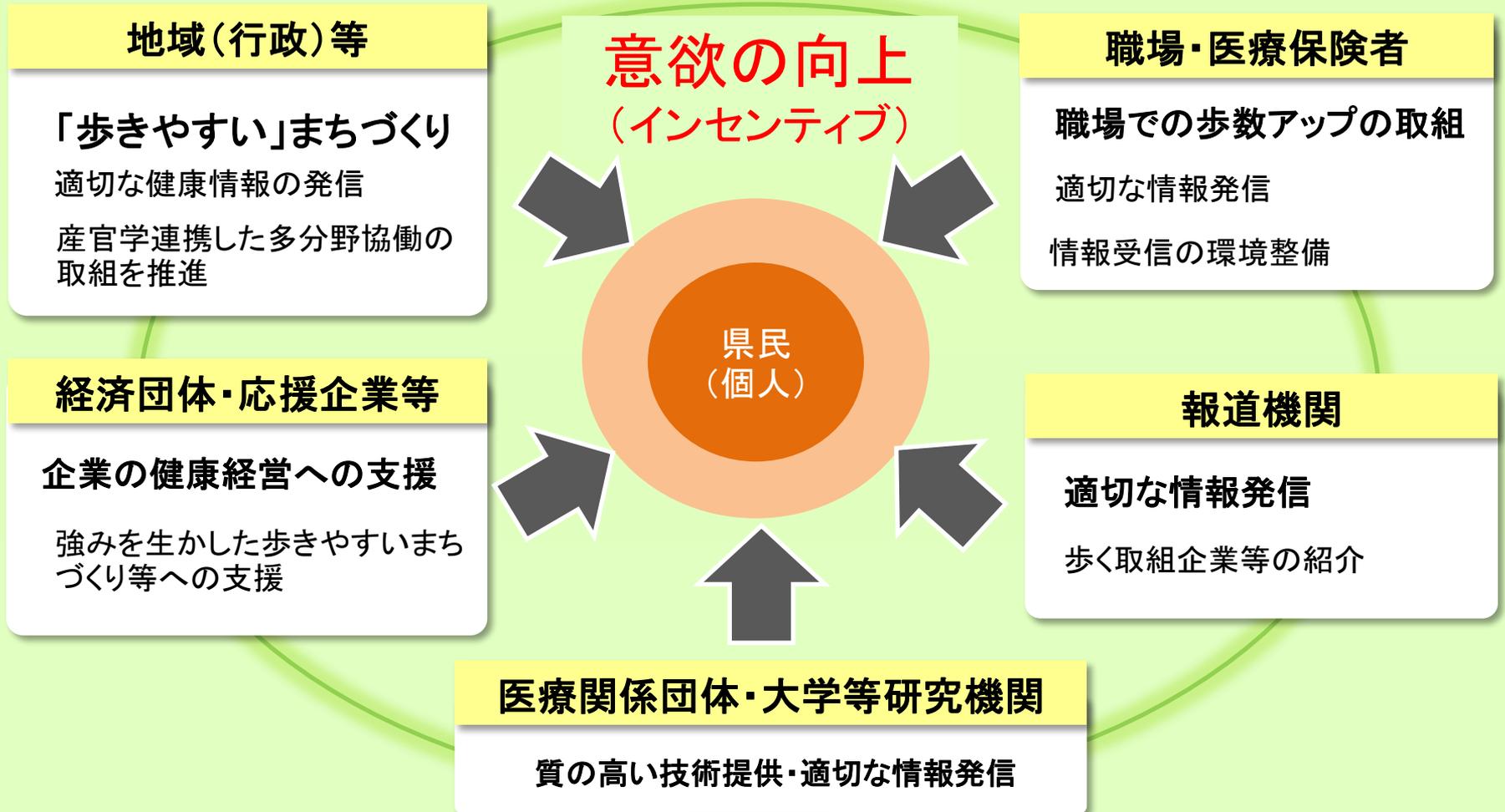
県民(個人)の活動量アップ(ライフスタイルの活発化)

健康経営
の普及

人の動きの広域化(コミュニティの活性化)

実現に向けて、各分野への期待

～ あと15分(1,500歩)歩くための工夫 ～



今後のスマートみやぎ健民会議の取組～産官学連携～

適切な健康情報の発信環境の整備

★ 健康情報窓口の設置

例：日本郵便(株)様(県内約400か所)との連携協定

★ ウォーキングマップ(仮称：健歩マップ)作成

例：各市町村及び各郵便局と連携

★ みやぎヘルスサテライトステーションの拡大

平成29年度開始：1か所開始→県内へ



先進的な取組の展開

★ 優良事例の収集・発信

★ 健康づくり優良団体表彰(スマートみやぎ健民表彰)

例：保険者、報道機関等との連携

